

皆さまの医療費の状況をお知らせします！



共済組合では、「短期給付財政安定化計画(データヘルス計画)」および「医療費適正化対策事業」の一環として、平成29年度および平成30年8月分のレセプト(診療報酬明細書)をもとに医療費の統計を行いました。

どのような病気で医療機関にかかっているのか、1人当たりどれくらいの医療費が使われているのか、年齢によってどのような疾病が多いのかなどの目安になります。

なお、組合員の皆さまには、年2回の医療費通知を行っております。日頃から医療費への関心を持っていただくことが、皆さまの健康と健全な医療保険制度の運営につながります。

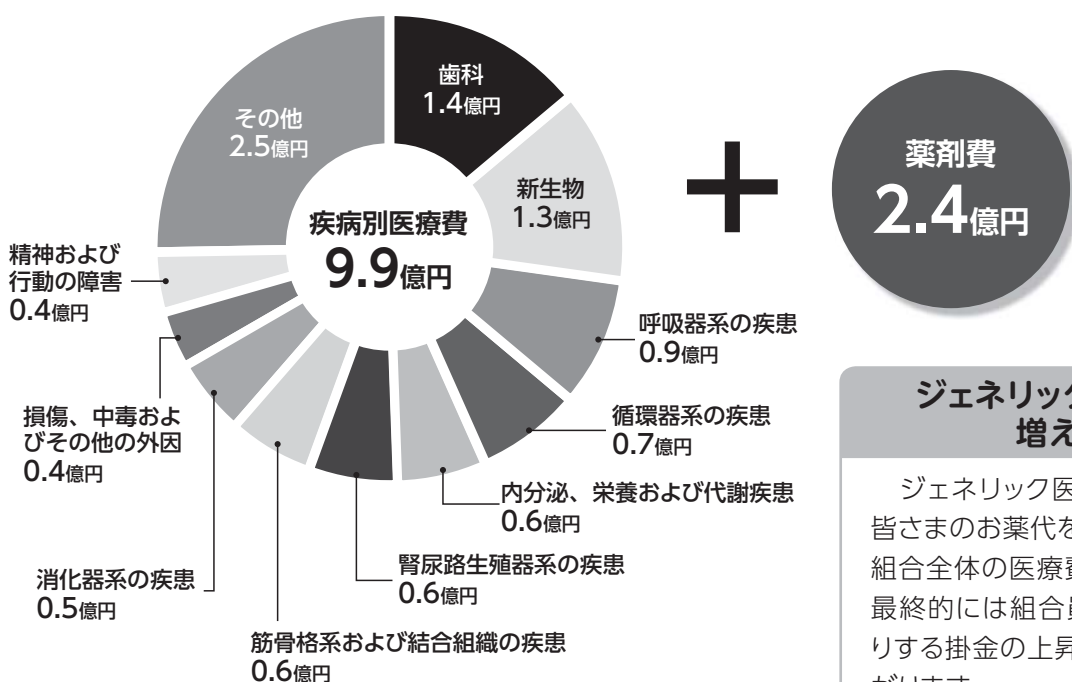
医療費は歯科疾患がトップ！

平成30年8月の医療費に注目してみました。1カ月の医療費を疾病分類別にみると、「歯科疾患」が全体の14%を占め1位となっています。このグラフから、生活習慣を見直すことで予防可能な疾病が上位を占めていることがわかります。

また、薬剤費は昨年よりも若干減少し、約2.4億円となっています。この薬剤費のうちジェネリック医薬品の利用は47%程度です。

早期発見、重症化予防のために健康診断は定期的に受けましょう。健康診断で異常が見つかった場合は、放置せず必ず医療機関を受診しましょう。

【平成30年8月の疾病分類別医療費と薬剤費】



ジェネリック医薬品の利用 増えてます！

ジェネリック医薬品に切り替えると、皆さまのお薬代を減らすとともに、共済組合全体の医療費を抑えることができ、最終的には組合員の皆さまからお預かりする掛金の上昇を抑えることにもつながります。

あなたの血管は大丈夫?! 血管が老ける生活習慣チェック

- あまり歩かない
- 運動はほとんどしない
- 以前と比べて太った
- ストレスを感じる事が多い
- 食事はついつい満腹まで食べてしまう
- インスタント食品や脂っこいものを好んで食べる
- 喫煙している
- 手足が冷たく、しびれた感じがする
- 睡眠不足が続いている
- 血圧が高い



チェック項目が多いほど血管年齢が高い可能性があります。
血管のアンチエイジングで動脈硬化や心筋梗塞、脳卒中などの怖い病気からあなたの大切な身体を守りましょう!

内分泌・代謝疾患の受診状況をチェック!

内分泌・代謝疾患と聞いてもあまりピンと来ないかも知れませんが、生活習慣病でお馴染みの糖尿病や脂質異常症、メタボリックシンドロームがこれに分類されます。

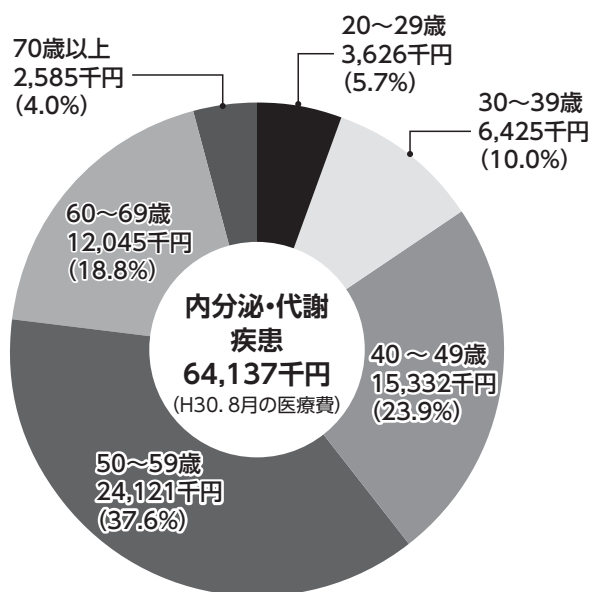
平成30年8月の内分泌・代謝疾患の医療費について、年齢階層別でグラフにすると、下記の結果となり、罹患者数は30歳から徐々に増え始め、45歳から64歳にいたっては、なんと30代前半の約2.7倍に膨れ上がっています。

1人当たりの医療費を見ると年齢とともに上昇傾向にあります。全世代をとおして高額になっています。

中でも糖尿病は、重症化してしまうと厳しい食事制限に加え、長期にわたりインスリン注射や、透析をしなければならなくなります。毎月の医療費が膨大になるのはもちろんのこと、治療のために貴重な時間や人生の楽しみも奪われかねません。

おいしいものを食べたり、好きなことを楽しめるよう日頃の生活習慣にも意識を向けて健康な毎日を送りたいですね。

【内分泌・代謝疾患の年齢階層別の医療費と構成割合】



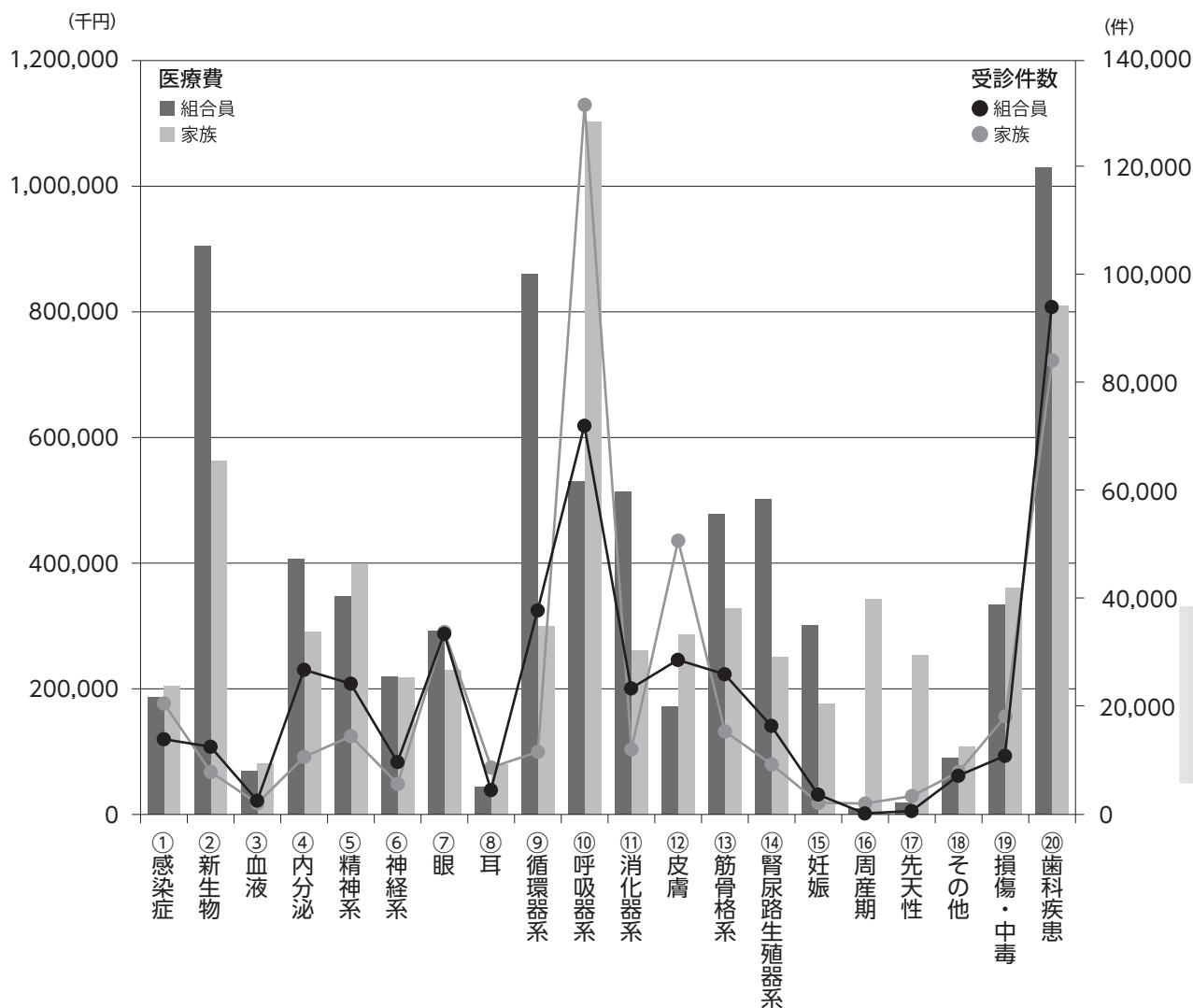
【内分泌・代謝疾患の罹患者数と1人当たりの医療費】

年齢区分	罹患者数(件)	1人当たり医療費(円)
20~24歳	72	23,647
25~29歳	118	16,302
30~34歳	183	16,451
35~39歳	203	16,825
40~44歳	272	19,651
45~49歳	485	20,593
50~54歳	558	19,917
55~59歳	717	18,143
60~64歳	526	20,238
65~69歳	75	18,667
70歳以上	96	48,548

平成29年度の医療費と件数を疾病分類別にみると

組合員と家族を合わせた合計の件数は「呼吸器系の疾患」と「歯科疾患」が顕著に多く、医療費では「歯科疾患」がトップで、「呼吸器系の疾患」、「新生物」、「循環器系の疾患」と続きます。

組合員でみると「歯科疾患」、「新生物」の医療費が多いことがわかります。家族では「呼吸器系の疾患」の医療費が最も多い金額となっており、続いて「歯科疾患」が多くなっています。「歯科疾患」は、組合員と家族ともに件数も医療費も多いことがわかります。



さらに年齢階層別に詳しく分析すると...

項目	主な傷病名
① 感染症	結核、ウイルス肝炎
② 新生物	腫瘍、白血病、がん
③ 血液	貧血
④ 内分泌	糖尿病、脂質異常症
⑤ 精神系	うつ病、統合失調症
⑥ 神経系	パーキンソン病、てんかん
⑦ 眼	結膜炎、白内障
⑧ 耳	外耳炎、メニエール病
⑨ 循環器系	高血圧症、脳梗塞
⑩ 呼吸器系	かぜ、アレルギー性鼻炎

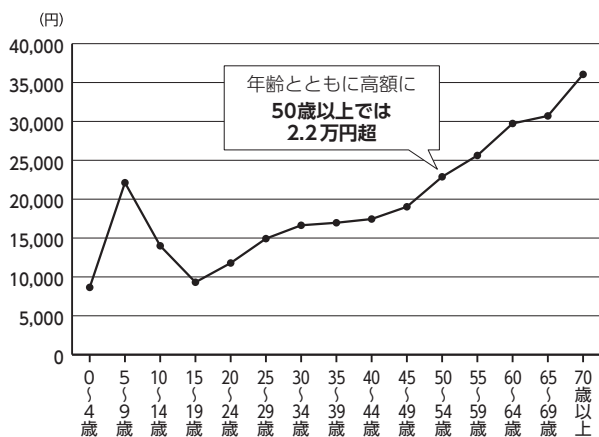
項目	主な傷病名
⑪ 消化器系	胃炎、肝炎
⑫ 皮膚	湿疹、にきび
⑬ 筋骨格系	関節症、腰痛
⑭ 腎尿路生殖生殖器系	腎不全、尿路結石症
⑮ 妊娠	流産、切迫早産
⑯ 周産期	胎児発育の障害
⑰ 先天性	染色体異常
⑱ その他	ほかに分類されないもの
⑲ 損傷・中毒	骨折、やけど
⑳ 歯科疾患	むし歯、歯周病

1人当たりの医療費を疾病分類別にみると

$$\text{1人当たりの医療費} = \frac{\text{疾病分類ごとの総医療費}}{\text{平均組合員数} + \text{平均被扶養者数}}$$

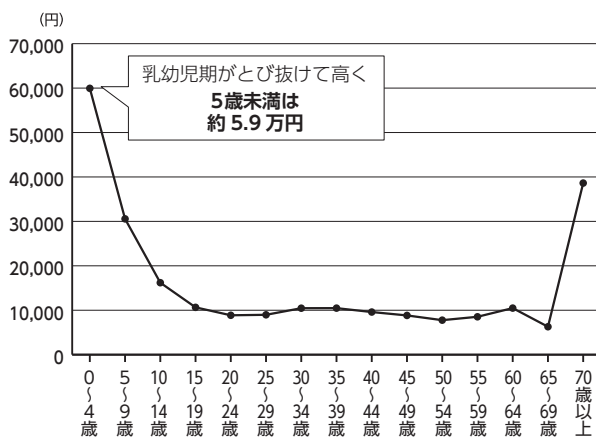
歯科疾患

むし歯、歯周病など歯の疾患では、5歳～9歳が2万2,117円と高く、また、50歳以上からも2.2万円を超え年齢を重ねるごとに高くなっていく傾向にあります。65歳以上では3万円を超えています。



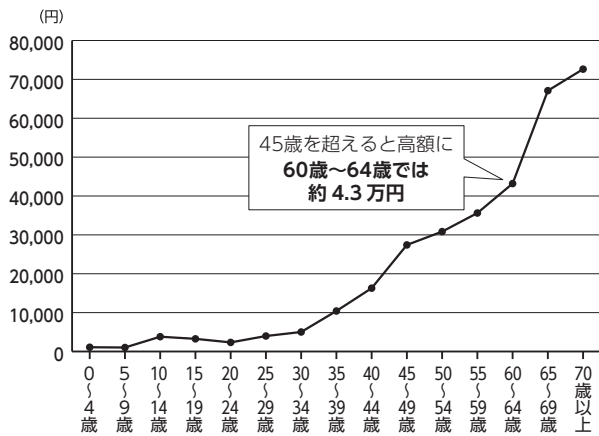
呼吸器系

かぜ、アレルギー性鼻炎、喘息等を含む呼吸器系の疾患では0歳～14歳までが60歳以上よりも高い傾向にあります。特に乳幼児期は約5.9万円ととび抜けて高くなっています。



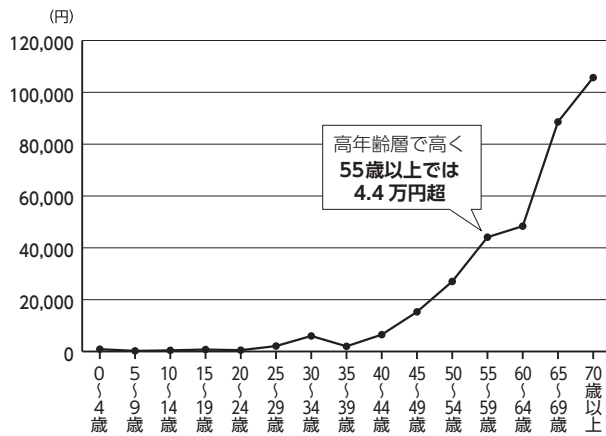
新生物

乳がん、胃がん、肺がんなど主にがんの疾患で、35歳からは年齢とともに徐々に高くなり、45～49歳は2.7万円、60歳～64歳は4.3万円、70歳以上では7.2万円を超えています。



循環器系

循環器系の疾患では狭心症などを含む心疾患や脳内出血などの脳疾患が多くみられ、30歳まではほぼ横ばいですが、35歳以上からは年齢を重ねるごとに高くなっていく傾向にあります。



これまでの統計・分析から、30歳から徐々に高血圧やがんなどの生活習慣病関連の医療費が高くなっていくことがわかります。一方で、むし歯やかぜなど普段からかかりやすい疾患は乳幼児期や50歳以上の方に医療費が多くかかっています。これら身近な病気は、毎日の歯磨きやうがい、手洗いなどで予防することができます。

生活習慣全般から起こる様々な体のトラブルが原因の疾患が35歳を境に右肩上がりに受診者数が増加しており、医療費もとび抜けて高額になります。年に一度は必ず健診を受け、食事や飲酒など日頃の生活習慣を見直し、禁煙や運動を意識的に日常に取り入れるなど、日々のちょっとした行動を習慣づけて家族みんなで健康的な暮らしを実現しましょう。

お問い合わせ先 保険課 ☎048-822-3306